



# 奈井江町生涯活躍のまち

誰もが躍動し、寄り添い集う全世代共奏のまちづくりプロジェクト

2024年度版

# 事業名

## 誰もが躍動し、寄り添い集う全世代共奏のまちづくりプロジェクト

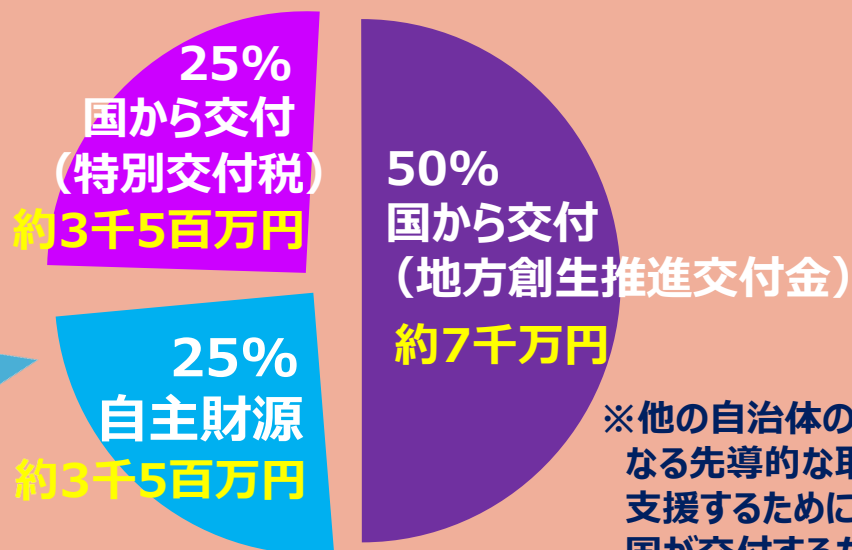
※国（内閣府）の地方創生推進交付金事業に採択されて進めています

# 予算額

令和6年度予算額  
約1億3千9百万円



今まで町が単独で行っていた事業を見直したり元々計画していた事業をこの計画の中に位置づけたりまた、ふるさと納税などの財源を確保したりしながら町民の新たな負担にならないよう配慮しています。



※他の自治体の模範となる先導的な取組を支援するために国が交付するものです。

# 事業期間

令和4～8年度までの5年間（令和6年度は3年目になります）

年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	合計
事業費	約103百万円	約137百万円	約139百万円	約105百万円	約105百万円	約589百万円



# 生涯活躍のまちについて

## 「生涯活躍のまち」とは

国の第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げられたまちづくりの理念で、住民の全世代の誰もが、居場所と役割を持って活躍できる、地域づくりを目指す取組です。  
全国で「推進している」、または「推進意向がある」自治体は、379自治体あります。

## 生涯活躍のまちづくりの進め方

### 【町民の皆さんと】

意見交換をしたり、まちづくりに参加していただいたりしながら、一緒に進めています。

### 【町外の人たちにも】

まちづくりへの参画を促したり、交流・活躍の機会を提供したり、民間のノウハウ等も活用しながら、関係人口の創出や、拡大に努めています。

## “奈井江版生涯活躍のまち”の特徴

- ①誰もが活躍できる就労の創出と定住促進
- ②誰もが健康で、安心して暮らせるまちづくりの確立
- ③地域資源を活かしたまちづくり

の3つの柱を掲げ、少子高齢化や人口減少などの、町の課題解決に取り組んでいます。

具体的には

- 役場の担当課長はもとより、現場の職員や、若手職員で構成する、庁内横断的なチームをつくり、議論をしながら、取り組んでいます。
- また、商工会や社協等と、適宜、連携しながら、事業を進めています。

具体的には

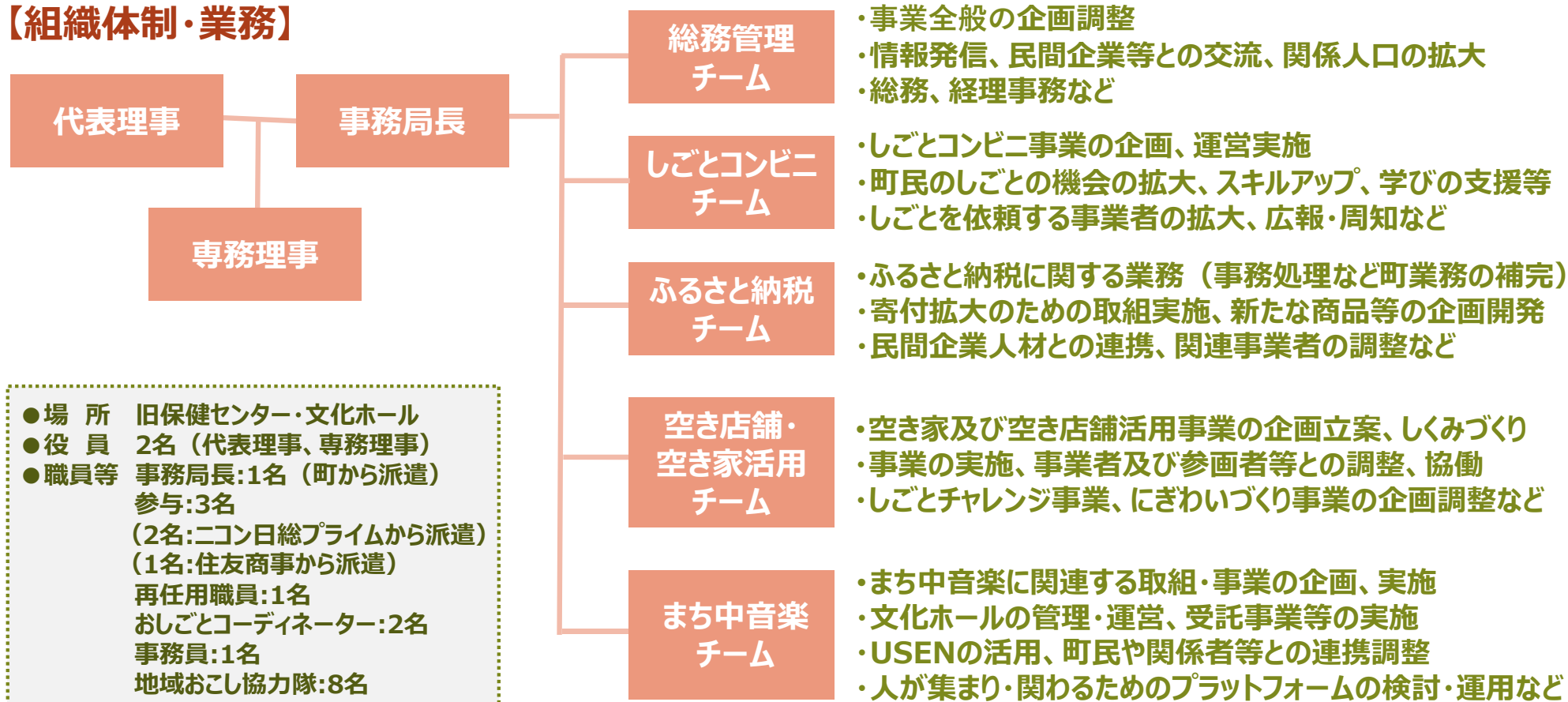
- 都市部の民間企業（ニコン、住友商事等）人材と協働して、まちづくりを進めています。また、役場職員等との交流や、意見交換の場を、継続的に設けています。

# 一般社団法人ないえ共奏ネットワーク

2024.5.1予定

生涯活躍のまちに関する様々な事業を企画立案し、町と二人三脚で実施・運営としていく主体として、「一般社団法人ないえ共奏ネットワーク」（略称:共奏ネット）を、令和4年6月に設立しました。町は、共奏ネットを、地域再生法に基づく地域再生推進法人として指定し、町民や町内外の事業者等と連携しながら、奈井江町のまちづくりを、柔軟かつ迅速に行っています。

## 【組織体制・業務】



# 活躍・しごと

## 「しごとコンビニ」

R5年5月に  
スタート

登録者は  
70名  
を越えました

令和6年度も  
取組を拡大  
していく



### 【目的は】

- ・年齢や時間などがネックで、働きたいけど働けない高齢者や、子育てママなどの「空いた時間を活用して、ちょっと働きたい」という思いと、事業所や町民の「ちょっと手伝ってほしい」というニーズをつなげる事業。
- ・講座や勉強会を通して、仕事のスキルが上がったり、多世代交流が生まれるきっかけも提供など、しごとを通じたコミュニティづくりの効果もある。

### 【R5年度に行った作業や仕事の例は】

封入・封かん作業、事務所内清掃、議事録作成  
農作業（トマト選別、糖度測定、サツマイモ仕分け）  
店頭販売、広報誌袋詰め・配布、花苗植栽  
ポスティング、シール貼り、給食炊飯・容器片付け  
草取り、タイヤ交換、除雪、ポスター作成、動画作成  
HP動作確認、データ入力、特定健診等受付など

### 【しごとコンビニの特徴は】

- ・自分の都合のいい日や、働ける時間に、自分がしたい仕事や、自分ができる仕事をする事ができる。
- ・チームを組んで、みんなと一緒に仕事ができる。

チャレンジする人  
を応援する

にぎわいスペース  
づくりや  
特産品開発も

## しごとチャレンジ プロジェクト

職員ワーキング  
チームで企画し  
関係者と調整して  
進めていく



活用可能  
空き店舗

改修  
設備  
充実等



新たな出店・開業

※やりたい人を応援する  
新しいしくみづくりも

### 【目的は】

- ・町外からの事業者の流入を促すとともに、事業者を応援することで、新たな商いの展開につなげていく。
- ・人が集まる場としての機能や、にぎわいの創出、コミュニティづくりの役割も、合わせて担っていく。
- ・新たな特産品等の開発や、お土産づくりなど、町外からの外貨獲得など、町経済の活性化を図っていく。
- ・出店者と協働して、まちづくりの取組を行うとともに、ずどんと発信、PRを行っていく。

### 【令和6年度は】

- ・活用可能な空き店舗を整理し、公募を行っていく。
- ・町のまちづくりに理解があり、協力できる事業者を選定し、プロジェクトの目的の実現をめざしていく。



# 住まい

## 住まいの幸せ 循環システム構築

新たな人の流れを  
促すための  
新しいしくみづくり

職員ワーキング  
チームで企画し  
関係者と調整して  
進めていく



空き家

町有空き住宅

(職員用住宅など)

活用の  
イメージ



リフォーム・リノベーション後

※賃貸物件として希望者に貸し出す

## 多世代共生型 交通システム導入

町民アンケート  
調査を踏まえ  
職員ワーキング  
チームで検討



【目的は】

・子どもから高齢者までの、多世代の誰もが、便利で使いやすい、新たな移動のしくみを構築する。

【令和5年度は】

町民アンケートによる調査、課題の検討、先進事例の調査などを行い、公共交通の見直しに関するプランを策定した。

【令和6年度は】

公共交通の路線変更など、見直しプランの反映に向け、試行的な運用・本格運行の準備を進めていく。

【目的は】

・町内の空き家や、町の持つ活用の予定がない職員住宅等を活用することで、新たな人の流れ（移住・定住の促進、町民の転出抑制等）をつくりだす。  
・地域コミュニティの活性化や、見守り・防災など、安全安心な暮らしの確保、生活環境の保持、まちの景観保全等につなげていく。

【令和5年度は】

しごとチャレンジプロジェクトの、空き店舗活用事業の動向や、課題等を踏まえ、共奏ネットを事業主体とした、新しい空き家活用スキームなどを検討した。

【令和6年度は】

新たな転入者（地域おこし協力隊など）や、お試し移住の希望者、大学生インターン、都市部の企業人材などの、住まいや滞在先の確保、町の暮らしの体験の提供、また、これらの人との交流を促進するために、町有の空き住宅をリノベーションし活用することで、その効果や課題を踏まえ、今後の展開に活かしていく。

# 交流・居場所づくり

## 全世代型コミュニティ の構築



職員ワーキング  
チームで企画・  
検討を行っている

### 【課題は】

- ・行政区・町内会の役員などの担い手の不足や、高齢化、固定化
- ・行事や活動への参加者の減少、活動の形骸化、人間関係の希薄化

### 【目的は】

- ・地域の人や、多世代の人たちが、主体的に活動ができる、持続可能なテーマ型のコミュニティや、楽しいコミュニティを、新たに作っていく。
- ・町民の誰もが、誰かとつながっているような、しほみを構築する。

### 【令和5年度は】

子どもたちの夢をかなえる人を探したり、将来のしほを体験する場を設けることで、楽しいコミュニティづくりを促す取組を行った。また、これらを発信することで、コミュニティづくりへの関心を促していった。

### 【令和6年度は】

行政区の役割や、見守り、防災機能などの整理。自発的で自由なコミュニティ、地縁に限らない、多様なコミュニティづくりを検討する。



203X年の  
奈井江町を  
皆んなで共有

まち中音楽基本計画  
に沿ってアクションを  
起こしていく

じゅう

## 「まち中音楽」 活躍システム構築



職員ワーキング  
チームと町民との  
協働や活躍の場を  
拡大している



### 【目的は】

- ・いつでもどこでも音楽や音に触れることができ、子どもから高齢者まで、年齢を問わず、障がいのある人も、外国人も、誰もが音楽と通じてつながることができる、音があふれるような、まちづくりを進めていく。
- ・癒やしの力、心と身体を元気にする力、人をつなげる力など、音楽の持つ力や、表現する喜びをわかちあいながら、創造力あふれるまちになる。
- ・音楽を通じた人づくり、場づくり、しほづくり、町外からの新しい人の流れや経済の活性化など、つながりが循環し、継続するしほをつくる。

### 【令和5年度は】

町内の公共施設に、USENのしほを活用して、音楽を流し始めた。地域おこし協力隊を中心に、新しい音楽イベントの実施や、音楽の輪が広がるような取組の実施や、先進事例の調査を行った。

### 【令和6年度は】

共奏ネットの組織をベースにして、音楽をフックに発信し、町に関わる人や、町に移住する人を受入れ、活躍できるしほを構築していく。

# 健康づくり・都市部との連携

## 多世代健康・安心・ 活躍フィールド提供事業



トレーナーを  
1名増員

### 【目的は】

- ・子どもから高齢者まで、健康づくりができる環境を整える。
- ・将来にわたって、健康で過ごし続けられる暮らしの実現につなげる。

### 【令和5年度は】

トレーニング環境（機器）を整備し、健康運動フロア事業や、町民コンディショニング指導・講座を実施した。

### 【令和6年度は】

町民コンディショニング事業を、さらに充実し、積極的に実施していく。

## プロモーションの展開

### 【目的は】

- ・まちの魅力を町民と共有し、広く発信することで、ブランド力の向上と、タウンプライドの醸成を図る。

### 【令和5年度は】

キャッチコピーの展開や、グッズの販売などを行った。

### 【令和6年度は】

“ずどーん”をコミュニケーションツールとして、さらに発信・展開していく。



職員ワーキング  
チームで企画・  
検討を行っている

ずどーん  
奈井江町



民間企業など  
外部とのつながり  
は拡大している

## 都市部民間企業人材との交流と 継続・発展型関係人口づくり



### 【目的は】

- ・都市部の民間企業人材の持つスキルやノウハウ、新たな視点などを、まちづくりの中に活かしていくために、交流を行っていく。
- ・まちに関わる人や、まちを応援するファン、まちで活躍する人を増やすことで、今後のまちづくりを、発展的かつ持続的なものにしていく。
- ・町産米や、町の魅力を活かしたふるさと納税を拡大することで、まちづくりのための財源確保や、まちの認知度の向上を図っていく。

### 【令和5年度は】

民間企業人材（ニコン日総プライム、住友商事）の派遣受け入れと、オンラインでの意見交換、町を訪問しての交流を行った。さらに、これまでに関わった民間企業人材と、SNSを活用した交流を継続している。町産米や、町の特産物を活用した、ふるさと納税返礼品を開発し、テスト販売を行った。また、民間企業人材との交流で生まれた、文化ホールの利用体験ができるふるさと納税も、効果を上げている。

### 【令和6年度は】

民間企業人材2名を、兼業・副業を促すための、国の新たな制度活用第一号として受入れて、ふるさと納税業務の補完や、寄付額拡大のためのプロジェクトを担っていく。